

評価規準（令和 2 年度）【理科】 4 学年

単元名	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
あたたかくなると ～あたたかさと生き物 1～	知技① 動物の活動は、暖かい季節、寒い季節などによって違いがあることを理解している。 知技② 植物の成長は、暖かい季節、寒い季節などによって違いがあることを理解している。 知技③ 身近な動物や植物について、器具や機器を正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果を分かりやすく記録している。	思判表① 身近な動物や植物について見いだした問題について、既習の内容や生活経験を基に、根拠のある予想や仮説を発想し、表現するなどして問題解決している。 思判表② 身近な動物や植物について、観察などを行い、得られた結果を基に考察し、表現するなどして問題解決している。	態① 身近な動物や植物についての事物・現象に進んで関わり、他者と関わりながら問題解決しようとしている。 態② 身近な動物や植物について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。
動物のからだのつくりと運動	知技① 人の体には骨と筋肉があることを理解している。 知技② 人が体を動かすことができるのは、骨、筋肉の働きによることを理解している。 知技③ 人や他の動物の体のつくりと運動との関わりについて、器具や機器を正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果を分かりやすく記録している。	思判表① 人や他の動物の体のつくりと運動との関わりについて見いだした問題について、既習の内容や生活経験を基に、根拠のある予想や仮説を発想し、表現するなどして問題解決している。 思判表② 人や他の動物の体のつくりと運動との関わりについて、観察などを行い、得られた結果を基に考察し、表現するなどして問題解決している。	態① 人や他の動物の体のつくりと運動との関わりについての事物・現象に進んで関わり、他者と関わりながら問題解決しようとしている。 態② 人や他の動物の体のつくりと運動との関わりについて学んだことを学習や生活に生かそうとしている。
天気と気温	知技① 天気によって 1 日の気温の変化の仕方に違いがあることを理解している。 知技② 天気の様子と気温との関係について、器具や機器を正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果を分かりやすく記録している。	思判表① 天気の様子と気温との関係について見いだした問題について、既習の内容や生活経験を基に、根拠のある予想や仮説を発想し、表現するなどして問題解決している。 思判表② 天気の様子と気温との関係について、観察などを行い、得られた結果を基に考察し、表現するなどして問題解決している。	態① 天気の様子と気温との関係についての事物・現象に進んで関わり、他者と関わりながら問題解決しようとしている。 態② 天気の様子と気温との関係について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。
電流のはたらき	知技① 乾電池の数やつなぎ方を変えると、電流の大きさや向きが変わり、豆電球の明るさやモーターの回り方が変わることを理解している。 知技② 電流の働きについて、器具や機器を正しく扱い	思判表① 電流の働きについて見いだした問題について、既習の内容や生活経験を基に、根拠のある予想や仮説を発想し、表現するなどして問題解決している。 思判表② 電流の働きについて、実験などを行い、得ら	態① 電流の働きについての事物・現象に進んで関わり、他者と関わりながら問題解決しようとしている。 態② 電流の働きについて学んだことを学習や生活に生かそうとしている。

	ながら調べ、それらの過程や得られた結果を分かりやすく記録している。	れた結果を基に考察し、表現するなどして問題解決している。	
雨水のゆくえと地面のようす	知技① 水は、高い場所から低い場所へと流れて集まることを理解している。 知技② 水のしみ込み方は、土の粒の大きさによって違いがあることを理解している。 知技③ 雨水の行方と地面の様子について、器具や機器を正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果を分かりやすく記録している。	思判表① 雨水の行方と地面の様子について見いだした問題について、既習の内容や生活経験を基に、根拠のある予想や仮説を発想し、表現するなどして問題解決している。 思判表② 雨水の行方と地面の様子について、観察、実験などを行い、得られた結果を基に考察し、表現するなどして問題解決している。	態① 雨水の行方と地面の様子についての事物・現象に進んで関わり、他者と関わりながら問題解決しようとしている。 態② 雨水の行方と地面の様子について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。
暑くなると ～あたたかさと生き物 2～	知技① 動物の活動は、暖かい季節、寒い季節などによって違いがあることを理解している。 知技② 植物の成長は、暖かい季節、寒い季節などによって違いがあることを理解している。 知技③ 身近な動物や植物について、器具や機器を正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果を分かりやすく記録している。	思判表① 身近な動物や植物について見いだした問題について、既習の内容や生活経験を基に、根拠のある予想や仮説を発想し、表現するなどして問題解決している。 思判表② 身近な動物や植物について、観察などを行い、得られた結果を基に考察し、表現するなどして問題解決している。	態① 身近な動物や植物についての事物・現象に進んで関わり、他者と関わりながら問題解決しようとしている。 態② 身近な動物や植物について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。
夏の星 ～夜空を見上げよう 1～	知技① 月は日によって形が変わって見え、1日のうちでも時刻によって位置が変わることを理解している。 知技② 空には、明るさや色の違う星があることを理解している。 知技③ 星の集まりには、1日のうちでも時刻によって、並び方は変わらないが、位置が変わることを理解している。 知技④ 月や星の特徴について、器具や機器を正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果を分かりやすく記録している。	思判表① 月や星の特徴について見いだした問題について、既習の内容や生活経験を基に、根拠のある予想や仮説を発想し、表現するなどして問題解決している。 思判表② 月や星の特徴について、観察などを行い、得られた結果を基に考察し、表現するなどして問題解決している。 (①②ともに、星空の観察や観察したことをふまえた話し合いを通して)	態① 月や星についての事物・現象に進んで関わり、他者と関わりながら問題解決しようとしている。 態② 月や星について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。

月や星の見え方 ～夜空を見上げよう 2～	知技① 月は日によって形が変わって見え、1日のうちでも時刻によって位置が変わることを理解している。 知技② 星の集まりは、1日のうちでも時刻によって、並び方は変わらないが、位置が変わることを理解している。 知技③ 月や星の特徴について、器具や機器を正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果を分かりやすく記録している。	思判表① 月や星の特徴について見いだした問題について、既習の内容や生活経験を基に、根拠のある予想や仮説を発想し、表現するなどして問題解決している。 思判表② 月や星の特徴について、観察、実験などを行い、得られた結果を基に考察し、表現するなどして問題解決している。	態① 月や星についての事物・現象に進んで関わり、他者と関わりながら問題解決しようとしている。 態② 月や星について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。
自然のなかの水のすがた	知技① 水は、水面や地面などから蒸発し、水蒸気になって空気中に含まれていくこと、また、空気中の水蒸気は、結露して再び水になって現れることがあることを理解している。 知技② 自然界の水の様子について、器具や機器を正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果を分かりやすく記録している。	思判表① 自然界の水の様子について見いだした問題について、既習の内容や生活経験を基に、根拠のある予想や仮説を発想し、表現するなどして問題解決している。 思判表② 自然界の水の様子について、観察、実験などを行い、得られた結果を基に考察し、表現するなどして問題解決している。	態① 自然界の水の様子についての事物・現象に進んで関わり、他者と関わりながら問題解決しようとしている。 態② 自然界の水の様子について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。
すずしくなると ～あたたかさと生き物 3～	知技① 動物の活動は、暖かい季節、寒い季節などによって違いがあることを理解している。 知技② 植物の成長は、暖かい季節、寒い季節などによって違いがあることを理解している。 知技③ 身近な動物や植物について、器具や機器を正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果を分かりやすく記録している。	思判表① 身近な動物や植物について見いだした問題について、既習の内容や生活経験を基に、根拠のある予想や仮説を発想し、表現するなどして問題解決している。 思判表② 身近な動物や植物について、観察などを行い、得られた結果を基に考察し、表現するなどして問題解決している。	態① 身近な動物や植物についての事物・現象に進んで関わり、他者と関わりながら問題解決しようとしている。 態② 身近な動物や植物について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。
とじこめた空気と水	知技① 閉じ込めた空気をおすと、体積は小さくなるが、おし返す力は大きくなることを理解している。 知技② 閉じ込めた空気はおし縮められるが、水はおし縮められないことを理解している。 知技③ 空気と水の体積やおし返す力の変化とおす力との関係について、器具や機器を正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果を分かりやすく記録している。	思判表① 空気と水の体積やおし返す力の変化とおす力との関係について見いだした問題について、既習の内容や生活経験を基に、根拠のある予想や仮説を発想し、表現するなどして問題解決している。 思判表② 空気と水の体積やおし返す力の変化とおす力との関係について、実験などを行い、得られた結果を基に考察し、表現するなどして問題解決している。	態① 空気と水の体積やおし返す力の変化とおす力との関係についての事物・現象に進んで関わり、他者と関わりながら問題解決しようとしている。 態② 空気と水の体積やおし返す力の変化とおす力との関係について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。

物の体積と温度	知技① 金属、水及び空気は、温めたり冷やしたりすると、それらの体積が変わるが、その程度には違いがあることを理解している。 知技② 金属、水及び空気の体積と温度との関係について、器具や機器を正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果を分かりやすく記録している。	思判表① 金属、水及び空気の体積と温度との関係について見いだした問題について、既習の内容や生活経験を基に、根拠のある予想や仮説を発想し、表現するなどして問題解決している。 思判表② 金属、水及び空気の体積と温度との関係について、実験などを行い、得られた結果を基に考察し、表現するなどして問題解決している。	態① 金属、水及び空気の体積と温度との関係についての事物・現象に進んで関わり、他者と関わりながら問題解決しようとしている。 態② 金属、水及び空気の体積と温度との関係について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。
物のあたたまり方	知技① 金属は熱せられた部分から順に温まるが、水や空気は熱せられた部分が移動して全体が温まることを理解している。 知技② 金属、水及び空気の温まり方について、器具や機器を正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果を分かりやすく記録している。	思判表① 金属、水及び空気の温まり方について見いだした問題について、既習の内容や生活経験を基に、根拠のある予想や仮説を発想し、表現するなどして問題解決している。 思判表② 金属、水及び空気の温まり方について、実験などを行い、得られた結果を基に考察し、表現するなどして問題解決している。	態① 金属、水及び空気の温まり方についての事物・現象に進んで関わり、他者と関わりながら問題解決しようとしている。 態② 金属、水及び空気の温まり方について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。
冬の星 ～夜空を見上げよう 3～	知技① 月は日によって形が変わって見え、1日のうちでも時刻によって位置が変わることを理解している 知技② 星の集まりは、1日のうちでも時刻によって、並び方は変わらないが、位置が変わることを理解している。 知技③ 月や星の特徴について、器具や機器を正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果を分かりやすく記録している。	思判表① 月や星の特徴について見いだした問題について、既習の内容や生活経験を基に、根拠のある予想や仮説を発想し、表現するなどして問題解決している。 思判表② 月や星の特徴について、観察、実験などを行い、得られた結果を基に考察し、表現するなどして問題解決している。 (①②ともに、星空の観察や観察したことをふまえた話し合いを通して)	態① 月や星についての事物・現象に進んで関わり、他者と関わりながら問題解決しようとしている。 態② 月や星について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。
寒くなると ～あたたかさと生き物 4～	知技① 動物の活動は、暖かい季節、寒い季節などによって違いがあることを理解している。 知技② 植物の成長は、暖かい季節、寒い季節などによって違いがあることを理解している。 知技③ 身近な動物や植物について、器具や機器を正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果を分かりやすく記録している。	思判表① 身近な動物や植物について見いだした問題について、既習の内容や生活経験を基に、根拠のある予想や仮説を発想し、表現するなどして問題解決している。 思判表② 身近な動物や植物について、観察などを行い、得られた結果を基に考察し、表現するなどして問題解決している。	態① 身近な動物や植物についての事物・現象に進んで関わり、他者と関わりながら問題解決しようとしている。 態② 身近な動物や植物について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。

水のすがたと温度	知技① 水は、温度によって水蒸気や氷に変わることを、また、水が氷になると体積が増えることを理解している。 知技② 温度を変化させたときの水の体積や状態の変化について、器具や機器を正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果を分かりやすく記録している。	思判表① 温度を変化させたときの水の体積や状態の変化について見いだした問題について、既習の内容や生活経験を基に、根拠のある予想や仮説を発想し、表現するなどして問題解決している。 思判表② 温度を変化させたときの水の体積や状態の変化について、実験などを行い、得られた結果を基に考察し、表現するなどして問題解決している。	態① 温度を変化させたときの水の体積や状態の変化についての事物・現象に進んで関わり、他者と関わりながら問題解決しようとしている。 態② 温度を変化させたときの水の体積や状態の変化について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。
生き物の1年をふり返って ～あたたかさと生き物5～	知技① 動物の活動は、暖かい季節、寒い季節などによって違いがあることを理解している。 知技② 植物の成長は、暖かい季節、寒い季節などによって違いがあることを理解している。 知技③ 身近な動物や植物について、器具や機器を正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果を分かりやすく記録している。	思判表① 身近な動物や植物について見いだした問題について、既習の内容や生活経験を基に、根拠のある予想や仮説を発想し、表現するなどして問題解決している。 思判表② 身近な動物や植物について、観察などを行い、得られた結果を基に考察し、表現するなどして問題解決している。	態① 身近な動物や植物についての事物・現象に進んで関わり、他者と関わりながら問題解決しようとしている。 態② 身近な動物や植物について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。